

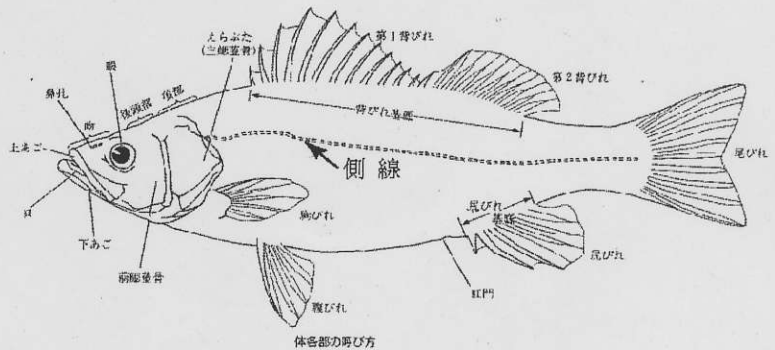
1. 水のきれいさについて

魚は種類によってきれいな水に住んでいる魚ときたない水でも住むことのできる魚がいます。

例えば、イワナやヤマメの仲間はきれいな水でないと住めません。また、オイカワやカワムツの仲間は少しきたない水に住んでいるし、コイ、フナ、ドジョウなどの仲間はきたない水でも住むことができます。

2. 音について

魚は音に対してとても敏感です。魚には体の横に「側線」と呼ばれる耳の役割をしているものが沢山並んでいて、遠くの音でも素早く聞き分けることができます。



3. 深さについて

魚は種類によって、生活する水の深さが違います。メダカの仲間は水面近くで、フナやコイの仲間は中ぐらいの深さから川底にかけて、ドジョウやナマズの仲間は川底近くで生活しています。また、同じ種類の魚でも季節や水の温度などによって生活する深さが変わります。

4. 流れのスピードについて

普通、魚の泳ぐ早さは、1秒間に体の長さの2~4倍の早さだと言われています。つまり、体の長さが10cmの魚であれば、20~40cm/sの流れの中で泳ぐことができます。ただし、魚が敵から逃げたり、滝などを上る時などは、1秒間に体の長さの10倍の早さで泳ぐことができると言われています。

利根川を上ってくるサケは体の長さが50cmにもなるものがあり、かなり急な流れでも上ってくることができるのです。

なお、利根川では普通 60cm/s程度の流れがあり、洪水の時には200cm/sぐらいになります。(これらの流れの速さは平均的なスピードであり、実際には場所や季節によって変わります。)